

## おわりに

兵庫ワイルドライフモノグラフ 11号では「ニホンジカ管理の現状と成果」をテーマに、これまでの行政施策と研究成果の振り返りを行いました。過去のモノグラフにおいてもシカをテーマとしたものとして、2号「農業集落アンケートからみるニホンジカ・イノシシの被害と対策の現状」、4号「兵庫県におけるニホンジカによる森林生態系被害の把握と保全技術」、7号「シカ・イノシシの捕獲推進のための技術と体制」、9号「兵庫県におけるニホンジカによる森林生態系被害の把握と保全技術 II」、10号「兵庫県の大・中型野生動物の生息状況と農業被害～鳥獣害アンケートと出猟カレンダーの分析～」が発刊されています。これまでのモノグラフではモニタリング体制の構築や、課題の把握を目的とした報告を多く掲載してきましたが、今号では個体数や被害の減少といったシカ管理政策の成果を多く報告することができました。兵庫県では2010年度頃までシカの増加傾向が著しく、その後捕獲圧を増大させましたが、なかなか成果が実感できない時期が続いており、ようやく2016年頃から個体数の減少といった成果が顕在化してきた状況です。他の都道府県をリードする形で成果を報告できたのは、県が捕獲の強化といった個体数管理を推進してきたことはもちろんですが、その過程をモニタリングし、データに基づく評価ができたことが大きいと考えています。

モニタリングの中で新たな課題も見えてきました。詳しくは各章の内容を見ていただきたいですが、広域スケールでの成果が見えてきたと同時に、より細かい地域スケールでの課題解決の必要性が高まっています。今後もモニタリング体制の維持は重要ですが、新たな地域課題に対応したデータ収集や評価の仕組みも必要となってくるでしょう。

最後になりましたが、査読責任者の栗山研究員をはじめ論文査読に協力いただいた方々、本モノグラフでの分析の基盤となった過去からのデータの蓄積にご尽力いただいた方々に、この場を借りて感謝したいと思います。

兵庫ワイルドライフモノグラフ 編集委員会  
責任編集者 高木 俊

兵庫ワイルドライフモノグラフ 11 号

兵庫県におけるシカ管理の現状と成果

2019 年 3 月 29 日 印刷

2019 年 3 月 29 日 発行

編集・発行 兵庫県森林動物研究センター  
〒669-3842 兵庫県丹波市青垣町沢野 940  
印刷 きくもとグラフィックス株式会社

# 兵庫県におけるニホンジカ管理の現状と成果

兵庫ワイルドライフモノグラフ 11号

2019年3月

## 目次

- 1 章 兵庫県におけるニホンジカ管理政策の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・1  
井上 裕司・高木 俊
- 2 章 兵庫県におけるニホンジカの科学的モニタリングに基づく  
順応的管理の評価と展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・14  
藤木 大介・高木 俊
- 3 章 兵庫県におけるニホンジカ個体群動態の推定と地域別の動向・・・・・・・・・・30  
高木 俊
- 4 章 兵庫県氷ノ山山系に生息するニホンジカの  
GPS 発信器による季節移動の解明・・・・・・・・・・・・・・・・・・58  
森光 由樹・藤木 大介・斎田 栄里奈
- 5 章 兵庫県神戸市において確認されたニホンジカの生息状況と  
捕獲対策の効果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・68  
横山 真弓・沼田 寛生
- 6 章 兵庫県に生息しているニホンジカの  
E型肝炎ウイルス感染状況（2007-2008年）・・・・・・・・・・94  
森光 由樹



兵庫県  
森林動物研究センター

〒669-3842 丹波市青垣町沢野 940  
TEL 0795-80-5500 FAX 0795-80-5506  
940 Sawano, Aogaki, Tanba, Hyogo, Japan 669-3842

Wildlife Management Research Center, Hyogo  
Wildlife Monograph of Hyogo, No.11

Current status and achievements of sika deer management in Hyogo Prefecture, Japan